

三重県国道協会提言書 - 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク整備の推進 -

— 地方創生、国土強靱化の推進 近畿自動車道紀勢線 —



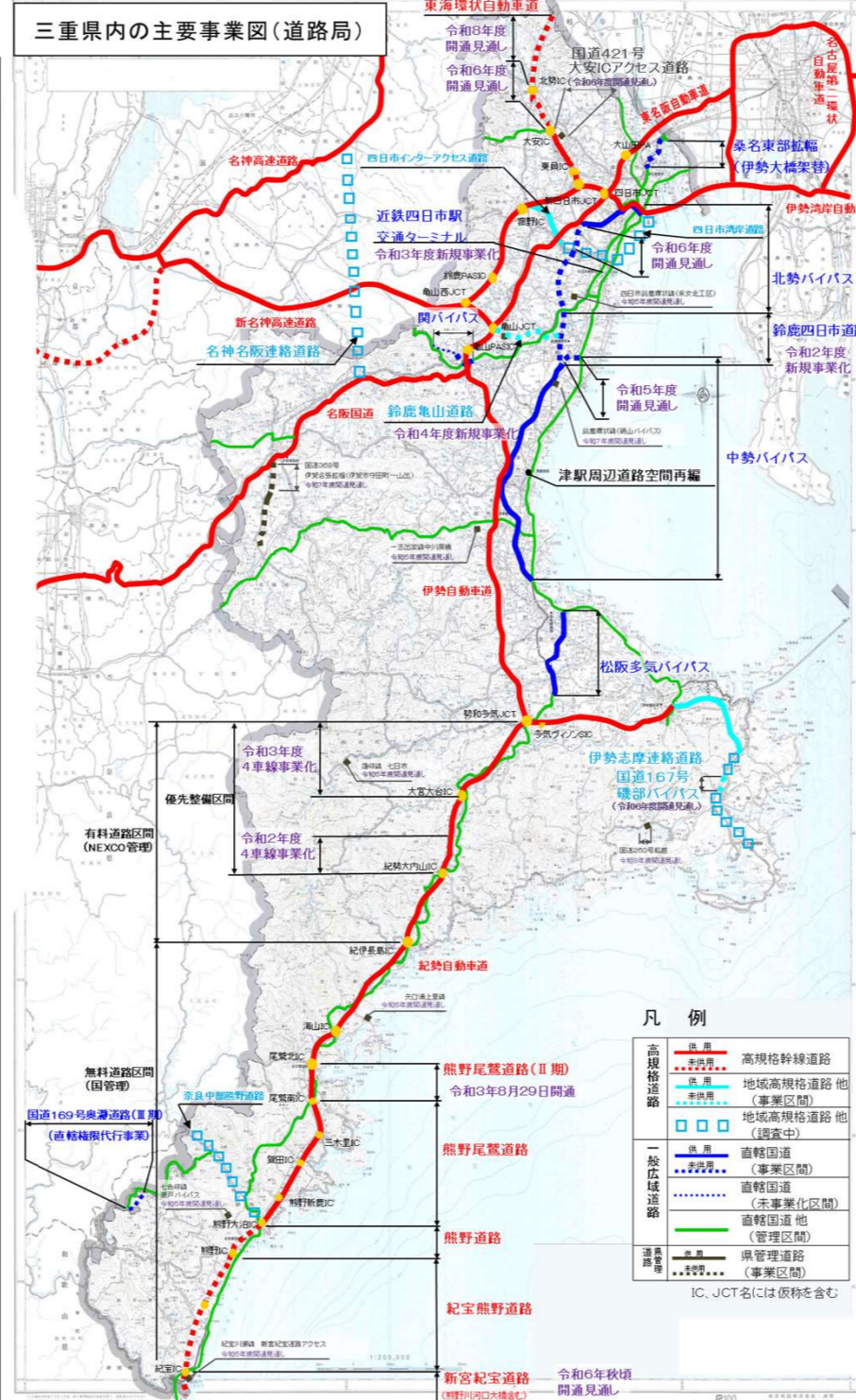
三重県南部は企業の集積が少なく、人口減少率も高い状況のなか、地域ならではの豊かな自然等を生かした**観光**が主要産業

→ 観光誘客・交流人口増を支える紀勢線の整備推進を！

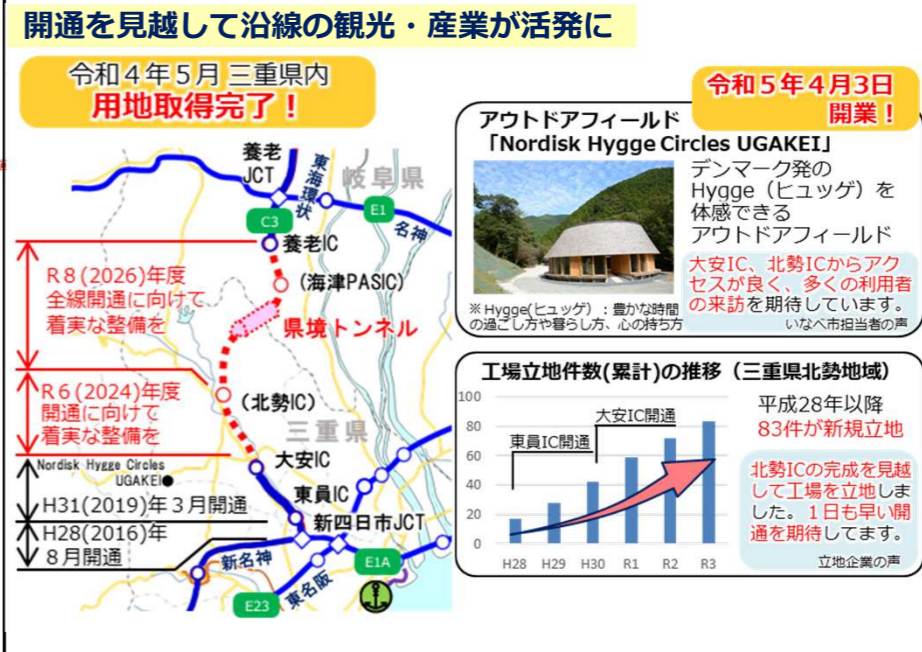
産直市場の大天井(イノ・マルシェ) 熊野古道世界遺産20周年 飛雪の滝キャンプ場(紀宝町)

VISON (滞在型複合施設・多気町) 熊野古道(馬越峠・尾鷲市)

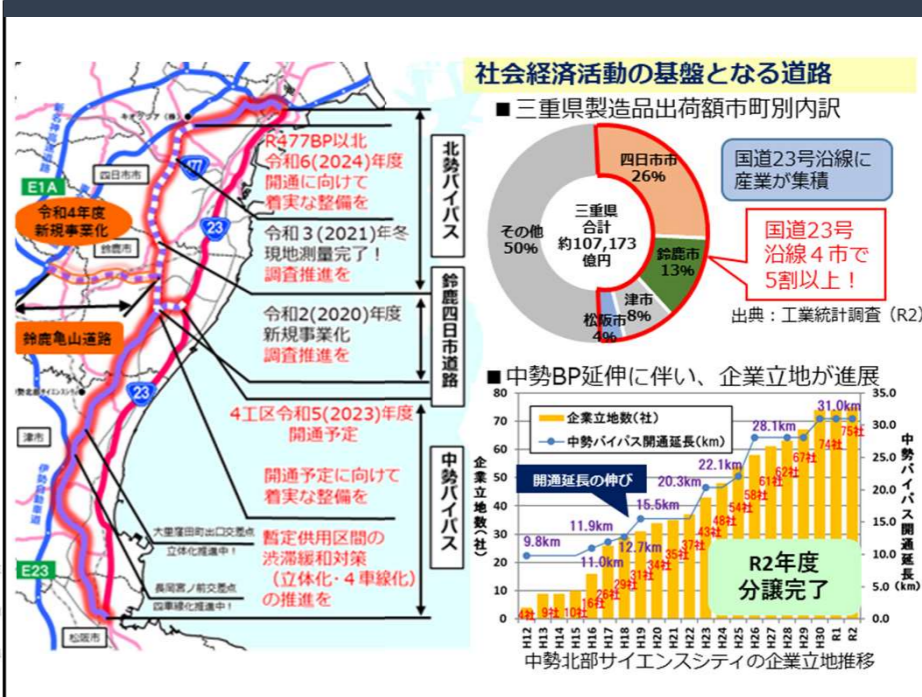
県全体▲2.51%で人口減少、南部では▲14.1%の町も！(2015~20国勢調査人口から計算)



— 地域活性化 東海環状自動車道 —



- 物流の円滑化 鈴鹿亀山道路・北勢BP・鈴鹿四日市道路・中勢BP -



提言

- 地方創生、国土強靱化に資する「命の道」近畿自動車道紀勢線のミッシングリンク解消に向けて熊野道路、紀宝熊野道路および新宮紀宝道路の整備を推進し、高速道路紀伊半島一周を早期実現すること。
- 紀勢自動車道および熊野尾鷲道路について、4車線化事業中区間の早期完成を図るとともに、暫定2車線区間の4車線化の早期事業化に向けて、有料制度の活用など安定的な財源の確保について、地域の意見もふまえて検討すること。
- 東海環状自動車道について、令和8(2026)年度の全線開通に向けて着実に整備を推進すること。
- 東名阪自動車道大山田PAスマートIC(仮称)について、国による準備段階調査に早期着手すること。
- 新名神高速道路四日市JCT~亀山西JCT間の6車線化の早期事業化と財源を確保すること。
- 鈴鹿亀山道路について、早期整備等のため必要な予算を確保するとともに、有料道路事業の活用など整備手法の検討を支援すること。
- 国道23号鈴鹿四日市道路の整備を推進すること。
- 国道1号北勢バイパスの全線開通に向け整備を推進すること。
- 令和5年度に全線暫定開通予定の国道23号中勢バイパスについて、暫定供用区間の渋滞緩和対策(立体化・4車線化)を推進すること。
- 国道1号桑名東部拡幅の老朽化著しい伊勢大橋の架替について、着実に整備を推進すること。
- 国道42号松阪多気バイパスの朝田町南交差点立体化について、着実に整備を推進すること。
- 名神名阪連絡道路について、連携してルート帯の決定など計画の具体化を図ること。